

日本共産党 西宮市会議員

佐藤みち子

活動だより 2016年4月



議員団控室 Tel.0798 - 35-3368 fax22-7815
自宅 高須町1丁目 1-7-5-206 Tel.42-2856

市民の暮らしと子どもや高齢者の 貧困問題について市長に問う

3月議会が終わりました。

日本共産党市議団を代表して私、佐藤みち子が2月26日、質問に立ちました。

① アベノミクス、市民の暮らしと貧困問題について
② 財政について③ 市長の政治姿勢について④ 無秩序なマンション建設を規制するために まちづくり基本条例の制定を⑤ 第2庁舎について⑥ 介護保険 新総合事業」について、以上6項目を質問しました。



特に、貧困問題について、

市長は、個人市民税は増加傾向である。一方、単身高齢者の増加で生活保護世帯や支給額の増加傾向が続いている。市民の暮らしは多様であり、「様な判断をすべきでない」と答弁しました。市のデータからも明らかに市民の貧困、格差が広がっていますが認めようとはしませんでした。

UR借り上げ住宅問題は話し合いで解決を

3月議会でもシティハイツ西宮北口の7名の住民を裁判に訴える「訴え提起」の議案は賛成多数で可決。共産党市議団は話し合いで解決すべきと議案には反対しました。

同時に、市議団が提案した「話し合いの継続を求める」付帯決議は全会一致で採択されました。

日本共産党市議団は 2つの修正案には賛成、 予算案は反対

市長提案の「広報アドバイザー」と「西宮の休日」についての修正案に賛成。

一般財源が112.6億円も、もっと市民の暮らしを応援すべきと予算案には反対。

ブログ「佐藤みち子のあんなことこんなこと」ぜひ訪問してください。

年間2万円の難病患者の 見舞金は廃止

ひどい

2016年度は年間2万円の見舞金を全額廃止します。①国が難病疾病を56、306疾病に拡充したこと。②医療費助成の負担が3割から2割になったこと。③窓口相談を充実することを見舞金廃止の理由としています。

医療費の助成対象は重度の患者のみとされ、市民税非課税世帯は無料から2割に負担が増えることになりました。原因不明の難病で苦しむ患者のみなさんへの見舞金は継続すべき。冷たい市政は許せません。

高すぎる国民健康保険料を引き下げよ！

市は6万3千世帯が加入する国民健康保険の保険料が高いので、2008年度から高すぎる保険料を抑制するために一般会計から2億5000万円、2012

年度からは10億円を繰り入れてきましたが、保険料は上がる一方です。8年間で所得200万円・4人家族の場合26400円も引き上げられ、繰り入れ金が

「保育園落ちた、日本死ね」のブログに共感した人たちが「保育園落ちたの私だ」と国会前に集まり声をあげました。国会でも取り上げられ保育所問題が社会問題となっています。西宮ではどうでしょうか。認可保育所の申し込みが約2500人。

保育所増やして 安心して子育てできる西宮市を

保育所4月入所の選考に漏れた子どもは843人にもなり、深刻です。市でも早急な対策が必要。さらなる保育所の増設と保育士の待遇改善は急務です。私も保育所待機児童解消に全力をつくします。

いかされていません。結果27億円もの基金がたまっていきます。この基金を活用すれば国民健康保険料の引き下げは可能です。

